

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書】

都道府県名	兵庫県
-------	-----

・学校の概要（平成15年4月現在）

学校名	兵庫県加西市立泉中学校					
学年	1年	2年	3年	障害児学級	計	教員数
学級数	3	4	4	1	12	23
生徒数	120	151	132	1	404	

・研究の概要

1. 研究主題

他人を思いやり共に伸びるこころ豊かな生徒の育成（少人数授業等からのアプローチ）

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

2, 3年生 英語
 生徒の個人差がつきやすい教科であるため
 1, 2, 3年生 数学
 生徒の個人差がつきやすい教科であるため
 全学年 総合的な学習の時間
 生徒一人ひとりの課題に基づいた主体的な学習や地域性に即した学習ができるため

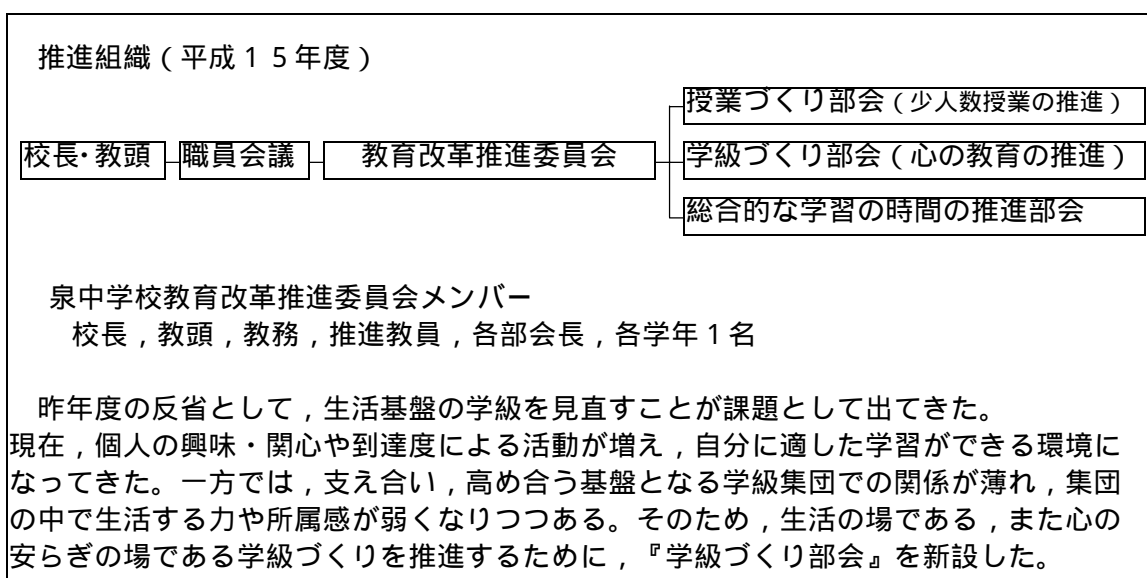
(2) 年次ごとの計画

平成 14 年 度	<p>テーマ 「個に応じた指導のための指導方法の工夫・指導体制の改善」</p> <p>仮説 小グループに分け、個に応じた指導をすることで、わかる喜び、解ける喜び、コミュニケーションできる喜びや学習の楽しさ、おもしろさ等を体感させる。そうすることが、授業への関心・意欲を高め、基礎・基本の定着と学力向上、ひいては学び方の習得へとつながっていく。それが、自ら学び自ら考える力などの「生きる力」を育むことになる。</p> <p>研究内容・方法 <少人数授業の取り組み> ・分割方法の実践 1学期は、1クラスを2分割 より良い手だての模索 方法...機械的（名簿順等） 意図的（学力がほぼ均等になる） 2学期の変更点 2年生の数学において、課題別のグループ編成による授業の実施 「基礎から発展コース」・「基礎重点コース」（個人の希望を重視） <総合的な学習の時間の取り組み> ・年間カリキュラムの作成，実践（過去の研究を基に） ・課題別の少人数グループを編成 全職員で，細かく指導</p>

平成 15 年度	<p>テーマ 「生徒の学力の評価を生かした指導の研究」</p> <p>仮説 生徒の自己評価や細かな評価活動を取り入れていくことで、より良い授業形態や授業方法が発見できる。また、授業分析ができ、授業改善に役立つ。</p> <p>研究内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価基準の作成 ・評価活動を取り入れることによる指導法の工夫，改善 ・生徒の自己評価を活用 授業形態，授業方法等の改善 ・総合的な学習の評価について
----------------	---

平成 16 年度	<p>テーマ 「発展的な学習や補充的な学習など個に応じた指導のための教材開発」</p> <p>仮説 個に応じた教材を開発し，生徒一人ひとりの実態に応じたきめ細かな指導の充実を図り，生徒の不得意分野の学力をつける。さらに，得意分野の伸長を図ることが，学ぶ意欲，生きる力の向上につながる。</p> <p>研究内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個に応じた教材開発 全教科，総合的な学習の時間 全教師で分担 ・研修の充実 校内授業研究会の実施
----------------	--

(3) 研究推進体制



・平成15年度の研究成果及び今後の課題
1. 研究成果

アンケート集計より

<全校生徒>

少人数授業をしてみてよかったですか。

	平成14年度	平成15年度
はい	59%	71%
どちらともいえない	34%	27%
いいえ	7%	2%

少人数学習で、授業がわかりやすくなりましたか。

	平成14年度	平成15年度
はい	56%	69%
どちらともいえない	39%	28%
いいえ	5%	3%

少人数学習で、自分の力が伸びたと思いますか。

	平成14年度	平成15年度
はい	23%	33%
どちらともいえない	69%	64%
いいえ	8%	3%

少人数授業に対する生徒の感想

- ・先生が一人一人に丁寧に分からない所などを教えてもらえる。
- ・先生に質問しやすくなった。
- ・授業が分かりやすくなった。
- ・成績が伸びた。
- ・自分の授業に対する意欲が高くなった。集中力がアップした。
- ・自分のレベルに合わせて学習出来た。

<保護者>

少人数授業は、生徒にとってプラスになっていると思われませんか。

	平成14年度	平成15年度
はい	72%	75%
どちらともいえない	28%	23%
いいえ	0%	2%

少人数授業に対する保護者の感想

- ・「少人数」という事で授業が受けやすい(なんだかホッとするのか、先生の目が行き届くからなのか)と子供が言っています。内容はそれぞれコースを選べるので、その子に合ったコースだからいいと思います。
- ・少人数でやると一人一人の生徒に目が行き届き、学ぶ側も教える側も密度の濃い時間が保てると思います。また、子供の個性の把握も容易となり、個に応じた指導が可能と期待しております。
- ・質問したくても普段勇気を持って問いかける事の出来ない生徒でも少人数だと授業に参加できると思います。そんな生徒のためにも続けてくださると嬉しいです。
- ・少人数学習は、先生も目が行き届きやすいし、子供も自分のペースで進む事もできるので、どんどん他の教科もやって欲しいです。
- ・少人数学習の方がよく分かるように思う。それに、子どもたちにとってもプラスになると思う。これからも少人数授業を増やして欲しいです。

生徒から「授業がわかりやすくなった」「先生に質問しやすくなった」「発表がしやすくなった」「授業に集中して取り組めるようになった」等の声が聞こえてきた。生徒たちは、解ける喜びやコミュニケーションできる喜び等を体感する中で、意欲を持って授業に取り組んでいる。少人数で学習することにより、生徒一人ひとりにきめ細かな指導ができ、基礎・基本の定着に大きく寄与している。

教師は、生徒の自己評価や細かな評価活動を取り入れていくことで、授業分析をし、より良い授業方法を発見している。また、生徒との対話やひとり一人の表情の観察を通して、つまづきを早期に発見し、指導に反映できている。個を大切にし、個を認め合う授業が展開されている。

2. 今後の課題

本年度、2・3年生の数学・英語で、2クラスを3つに分け、生徒の希望を重視したグループ編成で授業を行った。「基礎重点」コース（2クラス）、「基礎から発展」コース（1クラス）を設定したが、「基礎から発展」コースの人数が多く、『少人数授業ではないのでは...』という意見があった。それを改善するために来年度は、1クラスを2つに分ける課題別編成で授業を行うことにした。

生徒の力を伸ばすための評価の観点を明らかにし、目標を明確にした授業の研究、授業と評価のあり方等の研究をさらに深める。

全教職員へこの事業の意図を広げ、研修を充実させなければならない。さらに、生徒の意欲や個を伸ばす授業の工夫、改善を目指し、授業研究をする。

創意工夫をし、発展的な学習や補足的な学習など個に応じた指導のための教材開発を行う。

. 学力把握のための学校としての取組

定期的な生徒、保護者へのアンケート（学期に1回）

授業後の自己評価

定期的な学力調査（数学科）を実施する予定

・フロンティアスクールとしての研究成果の普及

加西市中学校数学科研究会（実践発表）

日時 平成15年10月10日（金）
 場所 兵庫県加西市立北条中学校
 テーマ 「基礎・基本事項定着への手だて」
 対象 加西市中学校数学科教員

フロンティア中間発表

日時 平成15年11月18日（火）
 場所 兵庫県加西市立泉中学校
 テーマ 「他人を思いやり共に伸びるこころ豊かな生徒の育成」
 （少人数授業からのアプローチ）
 対象 加西市教育委員会，本校教員

平成15年度北播磨地区学力向上推進協議会（研究協議の場で，実践発表をする。）

日時 平成16年1月22日（木）
 場所 県立教育研修所
 テーマ 「個に応じた指導と新学習システムの推進について」
 対象 北播磨地区各小・中学校新学習システム推進教員

実践研究の発表（来年度）

日時 平成16年11月5日（金）
 場所 兵庫県加西市立泉中学校
 テーマ 「他人を思いやり共に伸びるこころ豊かな生徒の育成」
 （少人数授業からのアプローチ）

【新規校・継続校】	15年度からの新規校	14年度からの継続校	
【学級規模】	3学級以下 7～9学級 13～15学級	4～6学級 10～12学級 16学級以上	
【指導体制】	少人数指導 その他	T・Tによる指導	
【研究教科】	国語 外国語 保健体育	社会 音楽 その他	数学 美術 理科 技術・家庭
【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】	有	無	